

京都労山

2025年5月号

No. 383

発行日

2025年4月21日

発行所: 京都府勤労者山岳連盟 発行者: 中村好夫 編集製作: 機関誌委員会 発行: 毎月第3月曜日

所在地: ☎.616-8042 京都市右京区花園伊町4 ☎.075-275-0453 FAX.075-468-1793

【ホームページアドレス】 <http://www.dab.hi-ho.ne.jp/kyoto-rozan>



京都府勤労者山岳連盟

京都労山『六つの合い言葉』

- (一) 私達は、山を勤労者の身近なものにする為に力を合わせよう。
- (二) 私達は、登山によって健康な身体と豊かな心を育てよう。
- (三) 私達は、登山によって助け合う心と友情を深めよう。
- (四) 私達は、多くの人達と交流し山を愛する仲間を増やそう。
- (五) 私達は、力を合わせ正しい山のモラルと高い技術を生み出そう。
- (六) 私達は、安全で確実な登山思想を身につけよう。

5月号目次

* 六つの合い言葉・目次	
* ステップアップ 教育委員会	01
* 事務局長会議報告	02
* 自然観察会の案内「嵯峨・観空寺谷」	03
* 自然保護コーナー 北陸」新幹線計画の現状	04
* クリーンハイク計画一覧	06
* 2025年度気象勉強会の案内	07
* 2025年度救助隊員登録の呼びかけ	08
* 無雪期搬出訓練の案内	09
* 近畿ブロック搬出講習会の報告	10
* 女性委員会交流山行の案内「瓢箪崩山」	13
* クライミング委員会山行報告	14
* 第60期組織表	16
* 大文字山登山道整備の案内	17
* 大文字山登山道整備の報告	18
* 能登半島地震被災者支援活動の報告	19
* 創立60周年記念事業第4回実行委員会の報告	22
* 2026年カレンダー写真の募集案内	23
* 連載企画・二百名山登頂シリーズ第51回「餓鬼岳」	24
* 5月号の案内	25
* 連盟月間予定表「カレンダー」	裏表紙

事故を防ぐためには

教育委員会・山下建男

先日、「右京つどい」で昨年秋の交流会担当会とコラボした「講演会」について演者の川嶋理事長に了解をいただいて講演会内容の勉強会を開催しました。抄録後半の「備忘録」では2例の悲しい出来事が紹介され話を進める中で「どうしてあんな時間から登山を始めたのか?」、「どうして携帯を車の中に置いたままにしたのか?」、「どうして娘さんには電話をして警察には電話を入れない無かったのか?」。悲しい出来事には「どうして?」の連発でした。

前半の「警察庁生活安全局安全企画課」の統計について確認を進めている時に何時も思うのですが「登山遭難」で、態様別山岳遭難者が一番多いのは「道迷い」、年齢別山岳遭難者は「70歳代が一番多く、次いで60歳代、50歳代でなんと80歳代も相当数ある」。死者・行方不明者も同様の傾向にある。「原因別事故の状況」になると「転倒が一番、次いで転・滑落、登攀」となっている。よく問題視される「時間帯別事故者の状況」になると12時~13時を挟んだ「11時台、13時~14時台」の魔の時間帯が指摘されている。この傾向は以前、教育遭難対策委員会で前年度全国連盟に京都から報告された事故届の解析でも同様の傾向が出ていました。今回講演会資料から全国連盟の事故届件数は横ばいで縮小されていませんでしたが「死者数」は一桁で終わっていてコロナ以前から減少している事が報告されていて少し安堵しました。「事故を起こしている年代、事故の状況、時間帯」など毎年同じ状況が続いています。京都連盟遭難対策部が今期から取り組んでいる事故を無くすための「ヒアリハット公開」について連盟会員に何処までたわっているか、各会の運営委員会止まりになっていないか一度検証してみてはどうでしょうか。「事故を無くすこと、事故を減らす」ためにも「ヒアリハット事例」を連盟会員に知らせることがこの活動の意味ではないでしょうか。

事務局長会議報告 (各会と連盟の活動報告・意見交換・情報交換を目的に開催)

4月1日 WEB 専用会議: やましな, 乙訓, 右京, 明峯, 山城, 左京, 洛中, 西山, 伏見,
亀岡 10 労山 連盟から 2 人

各会の活動状況(前月の例会や集いの実施状況・予定等)[各会・クラブ機関誌参照]

- ・[右京]<例会>3/9 ポンポン山(福寿草)18 人,20 北小松・獅子岩クライミング 5 人
<予定>4/6 バスハイク天ノ橋立,29 公開シャクナゲ尾根&翠黛山<その他>3
/24 第 60 期定期総会 35 名参加前向きな議論となった。3 月末会員 54 名
- ・[やましな]<例会>3/12 グランドゴルフ 11 人,20 天理・山の辺の道 13 人<予定>
>4/6 綾部ミツマタと三国岳,20 赤坂山<その他>3 月末会員数男 37 女 43 計 80
- ・[西山]<例会>3/7 唐櫃越え一京大キャンパス 4 人,9 愛宕山ペース 4 人,インド
アやまびこ 16 人<予定>4/1 三点支持登降実習,13 初級登山セミナー座学<その他>
>初級山登りセミナー開講、7 月末修了剣山、70 才まで広報募集、会員数 145 名
- ・[左京]<例会>3/9 大文字山(東日本震災追悼)5 人<予定>4/5 比叡アルプス,20
三国峠<その他>3/26 ミーティング ココヘリについて、4~5 月山行について
- ・[乙訓]<例会>3/9 七洞岳 9 人,23 山吹山・三上山 17 人,30 フェリーで小豆島 18
人<予定>4/6 小割村割岳,12 多紀アルプス<その他>3 月末会員数 97 人
- ・[洛中]<例会>3/1 金比羅クライム 4+1,15 フリークライムやまびこ 2+5+2<予
定>4/12 茶野・万野(鈴鹿)13 赤坂山~大谷山,4 月 26 日~5 月 7 日ヒマラヤトレ
ッキング 9 人参加<その他>3 月 30 日第 60 期定期総会京都アスニー 41 名。
- ・[明峯]<例会>3/1 幻の大仏鉄道 16 人<予定>4/12 京北桜巡り,13 六甲全縦<そ
の他>3 月 9 日事故甲斐駒下山道、最中雪の表面でスリップ,50m 滑落。全治 2 月
- ・[山城]<例会>3/30 青年学校神無山 9(会員)+20(生徒)+12(ヘルパー)=41 名
- ・[亀岡]<例会>3 月 7 日電車山行 2 人乗り遅れる<その他>4 月 13 日総会
- ・[伏見]<例会>3/9 ポンポン山 13 人,30 大文字でロープ 17 人<予定>4/13 公
開ハイク小塩山,27 和泉山脈飯盛~岩神山<その他>夏山バス山行(7/26~28 日八
ヶ岳 4 コース 27 人確約済み、4 月から連盟各会への会誌は PDF で行う。

連盟の取り組み、活動報告 (連盟の取り組みや活動状況を連盟事務局から報告)

- ① 無雪期搬出訓練 6 月 22 日(日)実施 らくなん山の会が救急法を担当(1~1H30)
- ② 第 5 回 60 周年実行委員会 4 月 23 日リモート専用で開催。
- ③ 2025 国民平和行進案決定。(予定表は事務局長会議レジメに添付済み)
- ④ 南部連盟交流ハイク(乙訓山の会)4 月 20 日(日)ポンポン山で実施。

5 月の事務局長会議は、GW につき報告のみとします。

清水正さんの“自然と遊ぼう”パート9

「嵯峨 観空寺谷」

大覚寺から観空寺に向かい、有栖川沿いの観空寺谷の林道を歩きます。

途中に、かつて藤田まこと主演の「剣客商売」のロケ地があります。その入口あたりは、ウミズザクラの木があり、着生ランがありましたが、今回も見られるでしょうか？少し湿性地なので、タデ科の植物などやニワゼキショウの仲間も何種類か見られます。また、アカメヤナギと思える大きな木があり、ニホンミツバチが巣を作っていたりします。林道に戻って菖蒲谷池に向かう行程となりますが、さてどこまで行けるかは、当日次第です。

〈実施日〉2025 年 6 月 28 日（土）小雨決行

＊中止の場合は、前夜 19 時までに連絡します。

〈コース〉大覚寺バスターミナル→観空寺谷周辺（有栖川沿い）

→大覚寺バスターミナル（15：00 頃解散予定）

〈案内〉清水正氏（NPO 自然観察指導員京都連絡会 代表理事）

〈集合〉10：00 大覚寺バスターミナル

＊行き方は、下記を参考に、各自で再確認して下さい。

・市バス 28 番；京都駅（9：00）→四条堀川→阪急嵐山駅（9：42）→嵐電嵐山駅→大覚寺（9：54）

・市バス 91 番；四条烏丸（9：10）→四条堀川→西院→西ノ京円町→花園駅→嵯峨嵐山駅前（9：51）→大覚寺（9：57）

（嵯峨嵐山駅前のバス停は、駅から北へ約 5 分、丸太町通りにあります）

＊嵯峨嵐山駅から大覚寺バスターミナルまでは、徒歩約 20 分

＊車の場合は、大覚寺駐車場（500 円程）

〈持ち物〉日帰り一般装備、昼食、飲物、常備薬、救急品他

あれば双眼鏡・ルーペ

＊緊急時の連絡先は各自で携帯しておいて下さい。

〈参加費〉300 円（講師料他）

〈定員〉30 名（会員限定）先着順、定員で締め切らせて頂きます。

〈申込〉受付開始 6 月 1 日（日） ＊5 月 31 日以前は受付できません
締め切り 6 月 15 日（日）

〈申込先〉各会の自然保護委員、または下記にお申込み下さい。

・メール申込み；担当牧村（jrsk-1021@yahoo.co.jp）まで。

その際、件名「自然観察会申し込み」、所属会・氏名・電話番号を記載して下さい。

・キャンセルや急な欠席の場合は、必ず連絡して下さい。

「北陸新幹線延伸計画」をめぐる状況（続報）

- 日本野鳥の会京都支部など3団体が、希少野鳥生息地への影響を懸念し、「計画中止を求め」府に要望書を提出（3/10）

延伸計画の現行案（京都駅南北案 or 桂川駅案）は、京都市内をトンネルで貫き巨椋池干拓地付近（久御山町・宇治市）で地上に出て（明かり区間）、さらにトンネルで松井山手駅に向かい、巨椋池干拓地付近には「車両基地」が予定されている。

「日本野鳥の会京都支部」、「日本鳥類保護連盟」、「関西ケリ研究会」の3団体は、西脇知事に計画の中止を含む行政勧告を求める要望書を提出した。

巨椋池干拓地は「京都府有数の豊かな鳥類相を形成する重要なエリア」で、府指定の絶滅危惧種を含むシギ・チドリ類が生息しており、トンネルや車両基地は「貴重な鳥類相と豊かな生物多様性を大きく破壊し、取り返しのつかない状態をもたらす可能性が高い」（2025年3月 京都新聞より）

- 「小浜ー京都ルート」のトンネルを掘削し、基盤岩内の地下水を大規模に移動させると、M7級の大地震を誘発させる恐れがある

尾池和夫京都大学名誉教授（元京都大学総長 地震学）は、国・機構のいつてきたこれまでの説明に疑義を表明。国は「言うべきこと隠している」とし、「三峠・西山断層帯」について説明していないと指摘。福知山市から南丹市まで約30kmにわたる三峠断層の延長上で、1968年M5.6の和知地震が発生、2001年にもM5.4地震が起きるなど断層帯で地震が活発化しており、M7級の大地震を誘発する恐れがある。

また、国は、京都盆地の基盤岩の上の分厚い堆積層が蓄える地下水について「トンネル工事が影響を及ぼすことはない」と説明しているが、「地下水は水溜まりではなく、地下で複雑につながっており、そこにトンネルの穴をあけ地下水の流れを変えれば水の質も量も変わり広範囲に影響が出る」とのべている。南海トラフでM8～9級の巨大地震が30年以内に起こる確率は80%（研究本部公表）とされるなか、「巨椋池干拓地は、南海トラフの地震で液状

化する恐れが高い」 (2025 年 3 月 毎日新聞等より)

○2019 年 1 月から始まったトンネル工事で近くの谷の水が枯れ、工事完了から約 4 年たち谷付近のヘイケボタルが工事前の 10 分の 1 ほどに減少するなど動植物に影響が出ている。

2024 年 11 月、京都労山自然保護委員会の自然保護セミナーで生物多様性をテーマに取り上げた中池見湿地での新幹線の影響の記事がありました。

敦賀延伸で「日本一新幹線駅から近いラムサール条約湿地」となった中池見湿地では、湿地を横断するルートは地元の自然保護団体などの取組みで最大約 150m ずらしたり、トンネルに地下水が入り込んで水位が低下しないようトンネルの構造も改めるなど影響を最小限に抑える対策がされたが、それでも谷水は枯れた。(2025 年 3 月 京都新聞より)

<この間のできごと>

○3 月 25 日 国が「北陸新幹線延伸計画について」の自治体向け説明会開催

○京都仏教会が「住民に対して開くべき」と声明を発表

白紙撤回を求めて銀閣寺 金閣寺、東寺、清水寺等に署名用紙を設置予定

「豊かな食文化や世界遺産を含む数多くの国宝や文化財を擁する京都を台無しにし『京都が京都でなくなる』計画」「千年の愚行」

○南丹市議会が、「市内での着工を認めない」決議を全会一致で可決 (3/28)

「指摘した重大な問題に対する住民の不安は払拭されておらず、地域住民及び本市議会の一定の理解が得られるまで、本市内での工事着手は認めない」

○環境アセスは途中、準備書は精査中で発表は未定

準備書が出ると説明会が開催、一般からの意見、知事等の意見表明が行われ、その後に評価書が出されます。それまでアセスは終了しません。アセス終了後、はじめて国は 5 条件にてらし認可を検討します。

○引続きとりくみをすすめます。

署名は、準備書が出るまで機構へ届けます。

○3 回目の「北陸新幹線延伸 S T O P 市民デモ」が予定されています。

5 月 25 日 (日) 15 時 京都市役所前 集合

2025年クリーンハイク 計画一覧

京都府勤労者山岳連盟

NO.		山域山名	実施日	コース	集合場所	同時刻	ゴミ収集場	申込先
1	右京労山	北山	6月1日	梶尾～沢の池～京見峠～鷹峯	梶尾	9:30	北区鷹峯堂ノ庭町:ゴミ集積カゴ「氷室6」	村上明彦
2	洛中労山	大文字山	6月1日	①洛東高校前～毘沙門堂～後山階陵右側～大文字山～裏大文字～銀閣寺 ②諸羽山～柳山～景山～大文字山～銀閣寺道	JR山科駅前	9:00	銀閣寺トイレ横	市田知子
3	乙訓山の会	愛宕山	6月1日	清滝～梨木大神～竜の小屋～愛宕山神社下～月輪寺分岐～月輪寺～金鈴橋～清滝	清滝金鈴橋表参道登山口	8:45	清滝駐車場	松方 隆
4	左京労山	比叡山	6月1日	雲母坂～水飲対陣跡～ケーブル比叡駅～水飲対陣跡～梅谷道～登山口	北山北白川交差点		比叡山梅谷道登山口	入江しのぶ
5	WAO亀岡	三郎ヶ岳	6月1日	千歳・小口～三郎ヶ岳～小口	小口	9:00		谷村美知子
6	明峯労山	東山 大文字山	6月1日	蹴上～七福思案処～大文字山～月待山～銀閣寺	銀閣寺トイレ横(蹴上?)	9:00	銀閣寺トイレ横	横井 巧
7	舞鶴労山	青葉山	6月8日					亀井義充
8	田辺山友会	甘南備山	5月25日	薪小学校下～山頂～芝生広場 竜王活動センター～山頂～芝生広場	薪小学校横 大住ヶ丘西BS	8:30	(甘南備駐車場)	大西良子
9	丹波労山	親不知	6月1日	市寺⇄親不知(往復)	市寺林道入口	9:30		中路勇喜
10	やましな山の会	音羽山醍醐山	6月1日	① 長尾天満宮～高塚山～桜の馬場 ② 橘大学～桜の馬場 ③ 大谷駅～音羽山～桜ノ馬場 ④牛尾山登山口～桜ノ馬場	長尾天満宮 橘大学 大谷駅 牛尾登山口	9:00 9:00 9:00 10:00	鎌研ぎ橋	佐々木五郎
11	西山HC	光明寺池周辺 光明寺裏山 天王山 サントリー山 十方山 浄土谷	6月1日	①光明寺～儀仗池～放丈池 ②光明寺～遊友の丘～子守勝手神社 ③小倉神社～天王山～桜の広場 ④椎尾神社～サントリー山～天王山～桜の広場 ⑤水無瀬の滝～十方山～小倉神社 ⑥小倉神社～浄土谷～乗願寺～小倉神社	光明寺駐車場 光明寺駐車場 阪急西山天王山駅 JR山崎駅 JR山崎駅 阪急西山天王山駅	10:00 9:30 9:00 9:00 9:00 9:00	なし なし なし なし なし なし	山下美喜子 岡庭美恵子 野村輝行 吉田京子 加藤ゆり 吉井秀文
12	山城山の会	宇治・朝日山	5月24日	京阪宇治駅～朝日山～志津川～天ヶ瀬自然公園～白虹橋～京阪宇治駅	京阪宇治駅	9:00		東 明美
13	福知山山の会	大江山	6月1日	大江山(千丈ヶ嶽)	大江山グリーンロッジ	9:00		金山誠教
14	舞鶴山遊会	由良ヶ岳	6月1日	丹後由良駅～由良ヶ岳(東峰・西峰)	丹後由良駅	9:00		土本重雄
15	らくなん山の会	田辺	6月1日	JR山城多賀駅～大焼山～万灯呂山～JR山城多賀駅	JR山城多賀駅	8:50		中塚光史
16	丹後山の会	高竜寺ヶ岳	6月7日	たんたんトンネル登山口～頂上往復	登山口駐車場	8:30		上羽清美
17	伏見山の会	八幡・男山	6月1日	こもれびルート	京阪石清水八幡宮駅	9:00	なし	入江まりこ
19	樹の根17組	芝山	6月1日	五塚原古墳～竹の路～洛西線国道～小畑川ハイク～洛西線国道～竹林から阪急洛西口駅～JR桂川駅	阪急東向日駅	10:00	なし	平田知子

2025年度

気象勉強会受講生募集案内

気象勉強会はオンライン形式で5月より開催いたします。
オンライン方式のため距離や時間の制約で参加出来なかった方もどしどし
参加して下さい。

日 程：2025年5月～2026年3月（月1回開催・12月休講）
平日・第4火曜日 午後7時～9時

オンラインシステム：Webex（アプリダウンロードは無料）
入室アクセツリンクは毎月配信
スマホからでも利用可能ですがノートPCを推奨

参加費：3,000円（年会費）

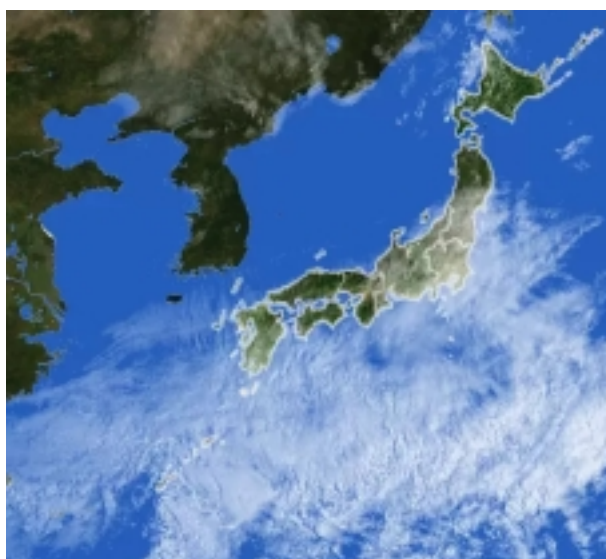
申 込：京都連盟教育委員会担当者へメールで申込
（所属・氏名・アドレスを記載）

申込先：教育委員会・山下建男

yamasansan326@gmail.com

締切り：5月20日（火）

はじめて申し込まれる方はその旨、申し入れして下さい。



4月1日 9:00 気象衛星・可視画像



2025 年 3 月 30 日

遭難対策部

第 60 期京都労山救助隊員登録用紙



- ★遭難者から「助けてほしい」と救助要請があった時、遭難者の家族の方から「うちの者を助けてほしい」と依頼された時などに、困っている人を助けてあげたい、助けるお手伝いをしてあげたいという思いのある方に登録していただいています。
- ★救助隊は山に入って遭難者の搜索救助活動をするだけではありません。京都の事務所や現地で事務的なお手伝いをしていただくのも大事な新救助隊の仕事です。
- ★救助隊員向けの学習会や訓練山行を企画します。日頃の山行に役立ちます。
- ★登録していただいた個人情報は救助隊活動以外には使用しません。個人情報は厳重に管理いたします。
- ★携帯アドレスは「新救助隊緊急招集一斉メール kr_kyujotai@yahoo.co.jp」に登録して緊急時の連絡に活用しますのでご了承ください。（この一斉メールは携帯メールに送信されますので受信可能の設定を行ってください）
- ★救助隊活動は全て自己責任での活動であることもご了承下さい。
- ★遭難事故が発生し救助要請があった場合は、常任理事、新救助隊、遭難対策部、当該山岳会、その他必要と認められる人員、遭難者関係者によって遭難対策本部が設置されます。
- ★救助隊は遭難対策本部の指揮下で、登録されている皆さんの意見をお聞きして役割分担を決めます。決して、無理な搜索救助のお願いは致しません。
- ★自分が出来る範囲、自分の判断でご協力をお願いします。
- ★毎年更新登録を行います。その時々状態によりご協力の範囲を申告ください。



2次元コードから登録できます 

1995 年 9 月 29 日作成

2016 年 5 月 17 日訂正

2023 年 9 月 25 日訂正

2025 年 3 月 28 日訂正

2025 年度 京都府連盟 無雪期搬出訓練のご案内

山岳遭難事故は、身近な低山での発生が増えています。それを踏まえて、登山中に遭難事故が起こった時を想定して、京都府連盟では、毎年行っている搬出訓練を下記のとおり行います。今年の搬出も昨年と同様に簡易ハーネスの作り方、カラビナスルー、各種結び方、日頃持って行っている装備だけを使った現実的な引き降ろし引上げ、ザック搬送はポール・カップそれぞれを使って作成しますが、初期対応や搬出方等の時間を増やす予定です。

応急手当は、今年はらくなん山の会担当で、三角巾のたたみ方、止血の方法、骨折(腕)の手当等を行う予定です。是非ご参加ください。

無雪期搬出訓練実施要項

1. 実施日 : 2025年6月22日(日) 雨天決行
2. 会場 : 安祥寺林道入り口(JR山科駅徒歩30分)
3. 予定 : 9:00 ~ 受付開始
9:30 ~ 訓練開始
15:30 解散予定
4. 持ち物 : 一般日帰装備一式+非常セット(三角巾、救急セット、ヘルメット、細引き5~10メートル、カラビナ2、安環付カラビナ1、ロングテープ、スリング、以上ある人)
5. 参加条件 : 労山基金、又は、民間山岳保険加入

★各会にて参加者の集約をして申込み表を遭難対策部まで送付してください。

送付先は6月号にてお知らせします。

- ★ 申込み表は事前に各会へ送ります
- ★ 参加会には事前にテキストをお送りします
- ★ 参加者の連絡先、留守宅氏名、連絡先は
現地参加責任者が把握して下さい



近畿ブロック搬出技術講習会報告

報告：坪山ヨ

実施日時：2025 年 4 月 5 日（土）9：00～15：00

実施場所：安祥寺林道入り口近辺

参加状況：兵庫 5 名、大阪 1 名、奈良 1 名、滋賀 17 名（内受講生 6 名）

京都 27 名（内受講生 16 名）【田辺 1・西山 5・福知山 1・伏見 1・やましな 1・洛中 5・山城 2】（講師スタッフ 13 名）【田辺 1・西山 1・福知山 1・伏見 1・やましな 1・洛中 2 名・左京 1 名・明峯 1 名・乙訓 2 名・右京 2 名】＊受講生兼スタッフが 2 名

目的

山行中、遭難という事態に直面したときに、限られた資源（装備、マンパワー、知見）を使って要救助者を助けるノウハウを学び、現在不足している資源を確認する。二次遭難を起こさないことを絶対条件とする。

獲得目標

- ・遭難時の初期対応を学ぶ→救助者の安全確保と状況判断。リーダーの確認。
- ・必要最低限の応急処置を学ぶ（初期評価・一次救命処置）要専門家による講習受講。
- ・細引きによる安全確保法を学ぶ
- ・簡易ハーネスとカラビナスルーに必要な結束法を身につける
- ・簡易ハーネスとカラビナスルーに必要な装備を確認する
- ・多人数時の搬出法を学ぶ（園芸用ネット搬送）
- ・少人数時の搬出法を学ぶ（ザック併用の背負い搬送二種類を身につける）

記録

9：00 受付開始 受講予定者 2 名欠席

9：30 開始。兵庫県連友永会長の挨拶で講習を始める。

- ・遭難時の初期対応。二次遭難を絶対起こさないように、救助者の安全確保を第一に状況判断をして再確認したリーダーの元、救助方針を立てる。
- ・応急処置では、その場の安全を確認した上で初期評価を行い、生命の危険が迫っていないかを見落とさない。大量出血、A(気道)B(呼吸)C(循環・脈)必要に応じて止血、胸骨圧迫、人工呼吸を施す。専門の講習を受けて欲しい。

10：10～班別に分かれて、ロープワークの講習を開始する。5班に分かれることになるが、今年は京都が主管するので、三班を京都で担当し、残り二班を滋賀で分担してもらう。



・広場にて、簡易ハーネス作成。カラビナスルー用のスリングとカラビナの取り扱い方を講習。細引きの活用法、結束法を講習。

11：00 頃～あらかじめ、鎖に見立てて斜面の立木に張り巡らせたロープを利用して、カラビナスルーの使用法を講習。2 支点間で複数人が同時行動すると、一人がスリップした場合に他のメンバーを引きずり込む可能性があるので、複数の同時行動をしてはならない。その後、細引きを使って安全確保を図りながら足元の悪い急斜面を上り下りして、要救助者の元へ駆けつける講習を行う。メンバーが持っている 6 ヶ 5 ～ 1 0 位の細引きをつなぎ合わせれば、頑丈な立木を支点として転落を防ぐためのループを多数設けることで、安全を確保しながら急傾斜を降りたり登り返したりすることが出来る。足元が不安定な場所で作業する場合は必ずセルフビレーを作ることと、支点は折れることのない頑丈な物を選定することが重要。二次遭難は絶対防がなくてはならない。

13：30 頃～搬出法の講習を行う。多人数時の搬出法で園芸用ネットを使った担架搬送の準備を行う。トレッキングポール使用と、丈夫な枝を使用する班もあり。全長 2 ヶ 超棒が必要であるが、短い枝をつなぎ合わせることになるが、テーピングテープが有効である。その後広場まで搬送。

14：30 頃～広場にて、背負い搬送の講習を実施。カップとザック、及びトレッキングポール（L=6.70 位の棒でも可）とザックを併用した背負い搬送二種類を実施して負いやすさ、作成しやすさを検証。カップ利用時、スリング固定場所を裾のポケット位置としていたが、お尻の収まりが悪く、前身頃付近の方がふさわしい。

徒手搬出は、時間切れで実施出来なかった班が大多数であった。

14：50～各班まとめと反省会。

15：00 閉会挨拶。解散



参加者の感想（一部抜粋）

《害獣ネットを使用した搬送》

- ・例会山行は人数が多いので可能だが、個人山行では人数が少なく難しい。
- ・少ない人数では無理がある。また体重が重い人は難しい。

《ザックを使用した搬送》

- ・負傷者が女性なら（女性の）自分でもできそう。
- ・ザックの大きさや外側のこぶの位置は調整が必要

《カラビナスルー》

- ・緊張感のある場所でのカラビナスルーが良かった。

《全体を通して》

- ・練習しておかないといざという時使えないので会でも取り組みたい。
- ・何度も参加しているが、参加する度に新しい方法を学ぶことができる。
- ・日常持っている装備で工夫してできたと思う。
- ・転倒が滑落につながるのでチェストハーネスは大切。
- ・滑落した人を助けに行った人が、滑落して骨折したことがあった。今回の訓練のようにロープを使用していたら防げた事故だった。
- ・大変良かった。次回も参加したい。
- ・続けて参加することが大切。

瓢箪崩山（532m）

（ひょうたんくずれやま）

ゆっくりと登り山の静けさと自然を楽しみましょう！

〔日 時〕 2025年6月21日（土）

〔集合場所・集合時間〕

① 出町柳バス停

8：40集合 京都バス 8：54発大原行き乗車

② 地下鉄国際会館駅バス停

9：00集合 京都バス 9：12発大原行き乗車

どちらも同じバスになります。花尻橋（大原記念病院前）下車

〔コース〕 花尻橋～登山口～寒谷峠～瓢箪崩山～三宅八幡宮

〔装 備〕 日帰り装備（昼食、お茶、雨具、ヘッドランプ、コンパス、
カラビナ、スリング、行動食、非常食、地図）

歩行時間約4時間30分 歩行距離約7.3km

〔地形図〕 25000分の1 「大原」

〔申込締切〕 6月17日（火） 会員のみの参加です

〔申し込み先〕 右京労山 三橋 順子

又は、他の女性委員まで申し込んでください。

Eメール junkoimo@yahoo.co.jp

携帯：090-9879-4322（ライン、Cメールで）

氏名、所属会名、携帯電話番号、緊急連絡先、集合場所①か②を
お知らせ下さい。

（雨天中止の場合は、前日の17時までに連絡します）



クライミング委員会山行 報告

クライミング 《姫路 シークリフ》

日:1月18(土) 晴れ

メンバー:内野(洛中)、岩根(左京)、梅若(乙訓)、小泉(田辺)、青山大(やましな)

前回あまり登れなかった姫路シークリフへ。各岩場のアプローチは問題なく、前に1時間ほどかかって場所が分かったアプローチ5分の上部の岩場で登る。

スラブルートやちょっとハング核心のルート、クラックラインなど各々に。あっという間に時間が経って、撤収前に海岸の岩場まで降りて次の目標を確認。



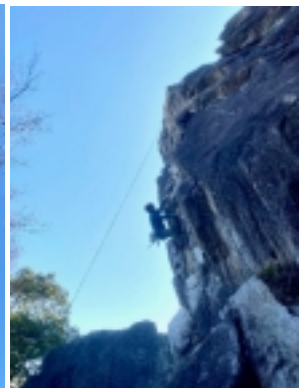
クライミング 《千石岩》

日:2月15(土) 晴れ

メンバー:内野(洛中)、梅若(乙訓)、小泉(田辺)、青山大、河合(やましな)

千石岩にクライミングに行きました。大津市の皇子山公園から15分程登った所にある近場の岩場です。寒いだろうと覚悟していましたが2月にしては暖かい日でした。空いていて登りたいルートを待たずに登れました。

ノーマル.バフフェイス.スカイライン.フレーク.けいちゃん頑張れ.スラブとそれぞれ登りました。まだ時間が早かったので裏面に行きリード講習をして1日を終わりました。週末の岩場は混んでいて疲れる事が多いですが、のんびり自分のペースで登れ気持ちの良い日でした。



クライミング 《勉強会（金毘羅）》

日：3月30(日) 曇り時々小雨、アラレ

メンバー：青山大・河合(やましな)、岩根(左京)、坪山(明峰)

杉島(右京)、梅若(乙訓)、林(らくなん)

小雨が降ったり、霰が降ったり、小雪が舞ったり、晴れ間が見えたり忙しい天気の中、ロープワークなどの勉強会。勉強会と言っても、誰かが何かを教えたり、横一列で同じことをみんなでするのではなく、各々やりたいことを自由にするフリースタイルで実施。周りから見たら、みんな散らばってバラバラに行動している、まとまりのない変わったグループに見えたかも…。

懸垂下降の結び目の通過は見ているだけでは身につかない。クライミングに関しては特に繰り返し自分の物にするまではそういうことが多い。

グリグリの新バージョンであるネオックスの試行は、慣れたグリグリの方がやりやすいという人も。アッセンダーについては実践していないが、手元で使い方を探っていたので感想はまた次回以降で。

年に一回は、こういう企画も続けていたら良いと思う。

～感想～

長らくやっていなかったロープワークを実施していただきました。お陰様で忘れかけていた事を思い出す事ができました。なかでも結び目通過は私が教わったやり方より分かりやすく、やり易かったです。

やはり色々なやり方を学び、その中から自分にあったやり方を覚えておき、不慮の事態に遭遇した時の為に備えておきます。 梅若

久しぶりにじっくりとロープワークの練習が出来た。復習がメインだったけど覚えきれていないモノもあって、しっかり身につくまで繰り返しが大切だと実感。皆んなでガヤガヤ楽しみながら学べてよかった。 青山

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【クライミング委員募集のお知らせ】

※クライミング委員会では、委員志望者を随時受け付けています。

希望される方は、各山岳会を通じてクライミング委員会までご連絡ください。

連絡先：kr_climb@yahoo.co.jp

※委員について

- ・登攀要素を含む山行(クライミング・沢登り・雪山など)を目指している方
- ・労山基金5口以上、またはそれらに準ずる山岳保険に加入している方

役員一覧表(敬称略)	理事会役割分担表(敬称略、下線はヘッド)
会長 中村 好夫(西山 HC) 副会長 横井 功 (明峯労山) 常任理事 山下 建男(右京労山) 大江 六夫(洛中労山) 西村 悦治(乙訓山の会) 坪山 芳樹(明峯労山) 青山 大地(やましな山の会) 安達 正明(西山HC) 平尾 繁和(田辺山友会) 氏野 博文(伏見山の会) 高野 寛 (伏見山の会) 平田 和子(樹の根 17 組) 網岡 国江(らくなん山の会) 菊沢 政夫(WAO 亀岡) <u>川端 純子(丹後山の会)</u> 常任理事13 名 理事 村上 明彦(右京労山) 近藤 進(右京労山) 入江 しのぶ(左京労山) 花折 敬司(明峯労山) 市田 知子(洛中労山) 村上 晃弘(洛中労山) <u>原田 明宣(洛中労山)</u> <u>久貝 昭(乙訓山の会)</u> 松方 隆 (乙訓山の会) 小川 繁 (乙訓山の会) 大西 良子(田辺山友会) 高岡 義昭(WAO 亀岡) 足立 喜久夫(丹波労山) 深田 雅子(西山 HC) 小西 弥生(西山 HC) 依田 敏夫(西山 HC) 金山 晶子(福知山山の会) <u>森 美子(福知山山の会)</u> <u>森下 信子(舞鶴労山)</u> 仲西 利光(HC舞鶴山遊会) 辻 信行(HC舞鶴山遊会) 臼井 知子(やましな山の会) 青山 郁夫(やましな山の会) 沖 充弘(山城山の会) 大江 隆子(丹後山の会) <u>田中 直子(丹後山の会)</u> <u>高岸 美由紀(らくなん山の会)</u> 中塚 光史(らくなん山の会) 野元 修 (伏見山の会) 理事 29 名 会計監査 糸井 聡子(伏見の会) <u>近藤 祐子(乙訓山の会)</u> 相談役 荒井 昭雄	理事長 坪山 芳樹 副理事長 大江 六夫、平尾 繁和 事務局長 西村 悦治 事務局員 安達 正明、高野 寛、 会計 氏野 博文 山行管理 坪山 芳樹、西村 悦治 委員会(太字は常任理事) 自然保護委員会 <u>平尾 繁和</u> 、則座 美智子、市田 知子、松方 隆、臼井 知子、麻田 育良、射場寿美子、入江しのぶ、石橋勝、牧村富代、中塚光史 女性委員会 <u>平田 和子</u> 、進藤 寿美子、小室 澄枝、竹内寿子、三橋順子、北千恵子、日野加代子 機関紙委員会 <u>高野 寛</u> 、 <u>山下 建男</u> 、 <u>西村 悦治</u> 、 <u>安田 和盛</u> 青年委員会 <u>川端 純子</u> 、 ハイキング委員会 山下美喜子、辻 信行、近藤 進、阪口千世美、高岸美由紀、井上哲、、野村 輝行、中村 康信 教育委員会 <u>山下 建男</u> 、小川 繁、野元 修、村上 晃弘、能登恵美子 クライミング委員会 <u>青山 大地</u> 、 <u>坪山芳樹</u> 、岩根 浩、内野 美樹、林清野、杉島美代子 河合美由紀、梅若光明、小泉弘道 組織拡大委員会 <u>大江 六夫</u> 、 <u>坪山 芳樹</u> 、 <u>西村 悦治</u> 、 HP委員会 <u>安田 和盛</u> 、 海外委員会 <u>安達 正明</u> 、横井 功 北部連携委員会 <u>辻 信行</u> 、仲西 利光、金山 晶子、森下 信子、 足立喜久夫、 <u>川端 純子</u> 、 <u>大江 隆子</u> 、 <u>田中 直子</u> 遭難対策部 <u>川端純子</u> 、辻信行、金山晶子、大釜恵美、岩根浩、原田明宣、 西脇英俊、村上明彦、花折敬司、藤田弘子、武本匠司、小西弥生、 久貝昭、梅若光明、 <u>網岡国枝</u> 、森本竜二、小倉幹夫、 <u>坪山芳樹</u> 各種担当 交流 <u>青山 大地</u> 、岩根 浩、野原 真紀子 自然災害復興支援 <u>青山 郁夫</u> 、横井 功、 平和行進 <u>安達 正明</u> 、奥西 一博、仲西 利光、青山 勲、菊沢 政夫 行事主催者賠償責任保険 <u>山下 建男</u> 団体担当 新日本スポーツ連盟京都府連盟 <u>安達 正明</u> 、 <u>高野 寛</u> 近畿協議会・全国評議会 <u>坪山 芳樹</u> 、 <u>大江 六夫</u> 、 <u>平尾 繁和</u>

京都府連盟登山道倒木整備 一大文字山を整備しよう

これまで登山道を使った感謝の念と恩返し、多くの登山者の安全のために

安祥寺上寺跡右俣登山道周辺の整備を行います。ここは谷が狭く、太く長い倒木が密集しているので今まで以上に危険が伴います。作業前には十分に打ち合わせと危険予知を行い、作業中も声を掛けあってケガのないように行動します。

これまでと同様に参加者の力量に応じて、力のある人はノコギリで倒木伐採、大木運搬、力のない人は小枝切り、小枝整理、声援と分担して行いますので誰でも参加できますのでご安心下さい。ケガをした場合は労山基金も対象になります。

登山道整備は京都大阪森林管理事務所の承認を得て実施しています。伐採する倒木には1本1本管理事務所の伐採許可番号札が貼り付けられています。

みんなで頑張って楽しく安全第一で整備しましょう。参加をお待ちしています。

★実施日： 5月24日（土曜日）本降りは中止 小降りは状況によって実施
天候が怪しい時は前日か、当日の朝早く判断して中止メールを送ります。
怪しいなあと思った時はメールを見て下さい。

★申し込み締め切り：実施週の月曜日

★集合場所：JR山科駅改札口付近 8時30分には出発します。

★参加申込先：連盟登山道整備担当 青山郁夫

080-3797-4392 携帯メール 2382m.ikuoi1025@ezweb.ne.jp

留守宅（緊急連絡先）も教えて下さい。

★参加条件：労山基金を含め山岳保険加入者

★持ち物：カップ、ヘッドランプ、レスキューシート、タオル、安いゴム手袋（なければ軍手）お弁当、救急薬品 ヘルメット（必携）、ノコギリ（なければお貸しします）、長靴（任意）、スパッツ（任意）、笑顔（必携）

★共同装備：ロープ、ビニール紐、カラビナ、サムスプリント

★その他

- ・作業の前には危険予知を相互に行い安全作業に努める。
- ・木が1/3切れたら声を掛けること。1/3でも突然、木が切れ落ちることがあるので注意！
- ・木を切る前には切れた木がどちらに落ちるか、跳ねるか常に予想して退避方法を考えておくこと。
- ・切った木を運ぶ時も木がどう動くか予測しておく。
- ・コロナはまだ続いています。

本人や同居家族で微熱や、咳、喉の痛み等がある場合は参加を取りやめて直ぐに発熱外来に行ってください。



京都府連盟～大文字山登山道倒木整備報告～

連盟登山道整備担当：青山郁夫

2025 年 3 月 15 日（曇り後小雨）

やましな：青山郁夫, 久子 右京：西村 村上 荒木 市岡 田辺：宮内

山科駅 8:30--9:11B 尾根送電線下 9:19--9:40 右俣分岐整備 11:36--11:38 右俣への谷整備 14:16--14:27 林道 14:37--15:17 山科駅

今回は大文字山 B 尾根の安祥寺上寺跡右俣取付きから右俣手前まで整備しました。7 人もの参加で予想以上に整備が進みました。昼過ぎから小雨が降ってきたので早めに切り上げました。ここの登山道が整備されると右俣まで安心して歩けます。次回は右俣まで綺麗にします。

青山久子さん

右俣の初回は B 尾根から右俣に行く所までの倒木整備ということで、杉の枝を次々と切って片付けていきました。安全第一で整備して行きたいと思います。

西村澄子さん

初めて通る道でした。

市岡明美さん

今回は人数も多く古い倒木が多かったためか、あれよあれよという間に片付けていきました。作業は楽しく、綺麗になって気持ちのいい一日でした。

村上明彦さん

順調でした。ヒヤリハットもなく、今年は順調に整備できそうです。自分のペースで作業できてよかったです。

荒木賢子さん

今にも雨が降りそうな雰囲気でしたが、初めての登山道にわくわくしながら作業場所まで楽しむ。

早速作業内容を確認して、作業に取り掛かるが、しばらくして雨がパラパラ。休憩をしている間に雨もやみ、作業開始 久しぶりののこぎりの感触大好きです。だんだん周りが綺麗になっていくのが良いですね。

宮内毅さん

1 回来て 2 回来たので、3 回目も来ようと思います。



整備前 枝で覆われてる



整備中 みんなで枝切り



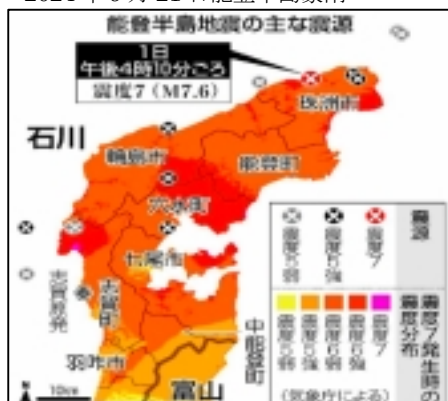
整備後 すっきり

第 31, 32 回 能登半島地震復興支援ボランティア報告

連盟ボランティア担当 青山郁夫

初めに訂正です。機関誌 3 月号と総会資料に載せた京都府連盟団体登録の月が 2024 年 2 月となっていたようですが 1 月 31 日に石川県の団体登録が完了していました。

2024 年 9 月 21 日能登半島豪雨



2024 年 9 月 21 日能登半島豪雨



地震被害 建物
115,357 棟 死者行
方不明 527 人 負
傷者 1759 人
豪雨被害 建物
1,751 棟 死者 16
人 負傷者 63 人

まだまだ、能登の
方は多くの災害ボ
ランティアを求めて
います。

数値出典:全国災害ボランティア支援団体ネットワーク 災害対応 2025 年 3 月 4 日

第 30 回 活動日:2025 年

3 月 8 日、3 月 9 日 やましな:青山郁夫 久子 乙訓:竹内 居川

3/7 京都居川乗車 11:40—山科竹内乗車—アルプラ津幡買出し—16:25 俱利伽羅塾泊

3/8 俱利伽羅塾 6:30—7:55 おらっちゃ七尾 10:17—10:27 田鶴浜被災者宅—親水公園昼食
—田鶴浜被災者宅—15:23 保育園、園庭清掃—どんたく買出し—弁天湯—保育園テント泊
参加者:全員で 82 名 私たちの班 6 人 軽トラ 1 台 軽バン 1 台 私のセレナ

活動内容:2/14, 15 に行った本一杯の赤毛のおばちゃまのおうちで要不用品判別搬送。

3/9 保育園—田鶴浜被災者宅—親水公園昼食—田鶴浜被災者宅—保育園—石崎町被災者宅
—保育園 16:55—総湯—山科竹内降車—23:02 青山自宅, 居川降車自宅へ 735km

参加者:全員で 58 名 私たちの班 6 人 軽トラ 1 台 軽バン 1 台 私のセレナ

活動内容:昼まで赤毛のおばちゃまのおうち。倉庫の不用品搬送。作業完了。やったね。

夕方は石崎町のおうちで植木鉢他不用品を軽トラ一杯に積んだ。

乙訓 居川均志——居川さんは今回、初めて参加されました。

七尾は奥能登に比べ外見はましに見えますがとても修復できそうにない家が多数あります。作業内容は公費で解体する家の下準備でいるもの、いらないものを運び出し分類して指定場所に持って行くものです。不要物と言っても大掃除の場合と違い家の人にとっては突然置場がなくなり無理に選別する苦痛の判断です。またそれを資源ごみに合致するよう分けるのでとても家の人だけでできるものでなく、そら月日が沢山かかるわなと思います。

被災者とボランティアをつなぐのを七尾は民間の団体がやってはるのですが 20.30 代の

若い方らが中心になり運営されていて頭が下がります。そのスタッフが言われてた事が印象に残っていますが、家や道路の復興の後、心の復興がまだあると。過去や現在の事より未来の夢や希望を考えられる心境になった時が本当の復興だと。口では簡単ですが、自分事でもやり切れない事が多い世の中で自分も周りも自然とそういう心境になれるよう精進しようと強く感じ意味のある参加になりました。

青山郁夫

今回は何と2月14日15日に行った田鶴浜の本一杯の赤毛のおばちゃまのおうち。日を置いて同じ被災者の方の継続案件のおうちに行くのは初めてだった。おばちゃまも私たちのことを覚えて見えた。前回と同様にまだ本が一杯。残しておく大事な物と不用品を判別。大事なものは2か所の借りている建屋に搬送。これ以上入らないというまで運んだ。今まで使ったいた物をととても愛しく思われていることが良く分かった。倉庫も片付けて完了した。別れる時の赤毛のおばちゃまの笑顔が忘れられない。いつまでも元気でね。

青山久子

毎回活動させていただいたお宅の家主さんのことはその後も気になるし、活動が継続だと尚のこと。それが今回以前活動させていただいたお宅に再び伺えたことはありがたかった。2日間の活動の中で一番印象に残ったことは、家主さんが別れ際に言われた言葉…

『やっぱり捨てるものは自分で決めて捨てたいもの』 そうだね。
おばちゃまからたくさんの学びをいただいた。ありがとうございます。お元気でね。



家の中の物品を運び出す。



軽トラは本や家具類で一杯



右から2人目が赤毛のおばちゃまです

第32回 活動日：2025年3月17日、3月18日

やましな：青山郁夫 青山久子

3/16 右京区の歯医者さん 16:39—22:19 七尾城登山口駐車場

3/17 七尾城登山口駐車場—おらっちゃ七尾保育園—田鶴浜被災者宅—親水公園昼食—ななか—田鶴浜被災者宅—ななか—保育園—弁天湯—農遊庵泊

参加者：全体で29名 私たちの班6名 軽トラ1台 軽バン1台 私のセレナ

活動内容：公費解体する納屋（傾いている、壁に穴が空いている）の片付け仕分け搬出搬送 母屋の片付け搬出搬送。大事なものが一杯だった。継続案件。

3/18 農遊庵—保育園—大津町被災者宅—親水公園昼食—ななか—保育園—垣吉町仮設住宅
周辺—保育園—弁天湯—保育園 18:12—途中猛吹雪—23:55 京都 777km 走行
参加者：全体で 87 名 私たちの班 7 人 軽トラ 1 台 軽バン 1 台 私のセレナ
活動内容：公費解体の元製綿所の家財搬出搬送。今回は初めてとは思われない程、き
っちり仕分けされていた。夕方から他班の応援で聞き取り調査（2 軒のみ）

青山郁夫

1 日目は公費解体の蔵の整理と搬送。蔵は傾き壁には穴が開いている。蔵の中は見事に引っ張り返っていた。京都の大学生 2 名とカルフォルニアに住んでいる親子（実家は小松市）と活動した。ボランティアに参加されて 2 組の熱い思いが伝わった。

2 日目は国士舘大学のお嬢ちゃん達と一緒に。実に若く元気。解体予定の製綿場は見事に要不用品が判別され作業がはかどった。独り住まいのおばあちゃんは元気一杯。昔のことを昨日の様に話してくれた。何と昔の彼氏の話まで出た。お元気でね。

青山久子

春休みということもあって、大学生のグループがたくさん参加。日本の未来も捨てたものじゃない。孫のような彼ら彼女らを頼もしく思えた。

ここ数回リーダーをさせていただき、チームの中で家主さんと直にコミュニケーションを取る役割がとても大事だと気付く。一人住まいの高齢の家主さんが多く、ものを片付けるだけでなく話を聞いてあげることで家主さん自らが心の整理をしていかれている様子がよくわかる。私はそのお手伝いをさせていただいている。



3/17 おばあちゃんに寄り添って活動



3/17 よっころしよと不要品を軽トラに載せる



3/18 国士舘大学のお嬢ちゃんたちとカルフォルニアから来た親子と一緒に。被災されたおばあちゃんは元気一杯で日頃しているヨガまで披露してくれました。



3/18 全員で 87 名の参加。若い子たちで一杯でした。きっと大きくなって今日活動を忘れないでしょう。

＜参加者＞14名（事務所6名、リモート8名）：実行委員9名、連盟3名、代理他2名

事：宮内（田辺）、野原（WAO）、青山だ（やましな、代）、坪山、西村（連盟）

青山い（やましな、登山道整備）

リ：沖（山城）、近藤（乙訓）、高木（右京）、金山誠（福知山）、安田（らくなん）

山本（洛中）、岩根（左京）、平尾（連盟）

＜今回の内容＞ これまでの確認事項と方向

① 会員数を2年間で再び1,000人を目指す

厳しい状況もあるが、各会で減らさず増やしていこう

② 18 労山の交流、世代間での経験・技術の継承を記念事業のテーマとする

③ 具体的に決まっているテーマ、交流会拡大、記念誌発行はパートに別れて実施して行く。
交流会、記念誌発行は実行委員の中から担当を決める

④ 今年をプレとし、来年10月の本番に向けて記念山行、記念品について今後協議していく

＜常任理事 西村からの提案＞

実行委員会を毎月決まった日時に開催する。その中で、各パートの進行状況を報告する

＜論議・意見＞

○交流会について

・交流の実をあげることが大切（テーマに掲げた世代間の経験、技術の継承等）

① 担当者として、25年度、26年度担当予定会の実行委員をあてる提案

② 全国ハイキング交流集会要項が参考資料として示され、30人ぐらいで技術のある人に話をしてもらい、翌日山行という方法もあるとの提案

（2018年交流会は、山本講演があり120名参加だが、宿泊は50名）

・25年について、担当3会でするのか、提案の実行委員で進めるのか、どちらにするのか決めてほしい。参加の会がふえるほどミーティングはやりにくい

・3会で進めるのが動きやすいならそれでいい。宿泊は負担が大きいので、日帰りでも中身の充実で交流になる。参加者をシャッフルして班を作るなど工夫すれば交流になる。

・日帰りで十分できるが、遠方から参加する場合、前泊の施設の対応は必要となる

・26年担当会なので今年の担当会のとりのくみを見てみたい

・会の山行に他会からも参加できる例会を月1回ぐらいつくり各会の交流を図ることも各会に要請する

・2026年の交流はどうする？

○登山道整備を60周年記念事業として取り組んではどうかという案について

・現在の整備場所の作業は、参加男性も少なく時間がかかる、60周年記念事業としてみんなの力でやれば違うのでやったらどうか（地域への貢献）

・登山道整備について、担当青山さんから詳細に説明。

・これまでやってきた方法でやるのか、他の場所・方法でやるのか、連盟はどうするか決めてほしい。現在行っている右股は、狭い谷で大勢では危険なので無理

大文字山B尾根は可能（延べ50人位で完了見込）

・この案については、継続してどうするか検討していく

＜決まったこと＞

・2025年の交流会について、

日帰りで実施（11/8か9）。担当3会（やましな、左京、WAO）ですすめる。オンライン会議を別途もち相談していく。第1回を4月15日（火）に実施。他の実行委員の視聴も可

・記念誌担当を決定

西村、安田、近藤、高木、高野（常任）

10年間の記録、各会の紹介など準備に入る

・今後の実行委員会は、毎月定例曜日に、完全オンラインで実施する。

次回4月は、4月23日（水）19：30～

以上

労山カレンダー写真募集

2026
年版

募集締切

5月20日(火) 必着

採用された方には謝礼2万円
すべての応募者にカレンダー1部進呈

今回も労山会員の山写真でカレンダーをつくります。
山や登山の素晴らしさ、魅力が伝わる1枚をお待ちしています！

応募規定

資格：労山会員
点数：一人5点まで
期日：2025年5月20日(金) 必着
写真：横位置のみ、合成不可



- ・データの場合
1000万画素数以上（縦2500×横3500ピクセル以上）
形式はJPEGまたはTIFF
- ・フィルムカメラ作品の場合
B4サイズにプリント、もしくはデータ化したもの
- ・人物が主題の作品は、写っている人の許諾を得ていること

※写真はトリミングさせていただくことがあります。

※カレンダー（B4判・中綴じ）掲載時の仕上り寸法は257mm×364mmです。

採用作品は下記にも掲載いたします。予めご了承ください。

- JWAF journal の表紙

- 日本勤労者山岳連盟ホームページのトップ

スマートフォンで撮影される方へ

毎年、素敵な構図なのに画質の問題で選考外になる写真が多数あります。

縦2500×横3500ピクセル以上のサイズで撮影してください。

選考規定

採用数：表紙および1月～12月の計13点
選考：小松由佳さん（フォトグラファース）

応募方法

WEB 応募

<https://ws.formzu.net/sfggen/S28243176/>

郵送

CD-R又はUSBで送付。フィルムカメラでの作品はデータ又はB4サイズのプリント写真で送付。

氏名・所属会・地方連盟・住所・電話番号・メールアドレス、各作品名・被写体の山名（山域）・撮影年月日を明記してください。

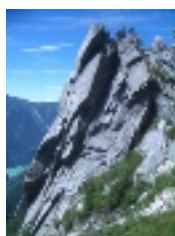
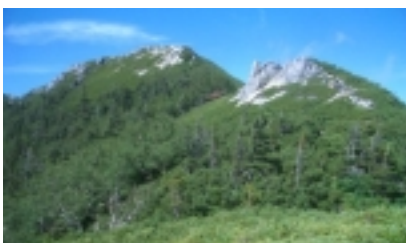
送付先

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24 日本勤労者山岳連盟

※返却を希望する場合は、返却先を記載して切手を貼った返送用封筒を同封してください。



- 22(土)05:58 自宅～11:49 中房温泉P～有明山(3H59)～安曇野山荘泊。
23(日)06:32 安曇野山荘～07:06 既に有明荘第1・2Pは満車。第3Pより歩く。
07:22 中房温泉登山口。日帰りの立ち寄り湯・トイレが新設され、多くの人で賑わっている。殆どが燕岳へ登る人の様だ。
07:41 中房温泉登山口～右へ、東沢方面へ行く。秘湯の会・中房温泉の前で右折。裏を通り抜けて登山道に入る。明るい樹林の中の道。
08:02 橋を渡る。地図には吊橋とあるが、パイプを組み鉄の足場板を載せた橋になっていた。サラシナショウマやタマガワホトトギス等が咲く中を川沿いに登って行く。所々に砂防ダムがあり、広い河原からは崩れた山の斜面が見える。最後のダムから右へ高巻道に入る。後から1人凄いスピードで登って来る人がある。速い! あっという間に見えなくなった。
08:32 ブナ平。名前の由来の看板があるがブナの木は無く、ダケカンバの巨木がある。小休止5分間。08:37 再出発。
08:45 奥馬羅沢。「おいしい水です」とあり5口飲む。成程冷たくて旨い水だ。この後9人とすれ違う。餓鬼岳の下りだろうか? 燕岳からか? いつの間にか西大ホラ沢出合を過ぎる。それらしい所を通ったが標は無い。また19人とすれ違う、随分沢山の人達が下ってくる。
10:03 ザレ場を越えたジグザグの急登の手前で小休止。振り返ると富士山・ハケ岳がよく見える。また12人とすれ違う。「乗越はまだですか?」と聞くと「後4～5回ターンしたらすぐです」との事。実際は10回程あった。
10:16 東沢乗越。少し広くなっていて大木の根元で休む。行動食でエネルギーを補給。すぐ下にテント場の様な平地がある。草刈りされ歩き易い道もここまで。作業途中の刈払機が置いてある。ここからは樹林帯の中ブッシュをかき分けながらの急登が続く。
10:59 東沢岳。ピークを通らず巻道に標柱。ここからはブッシュ帯を過ぎ岩場の稜線歩き。展望が良く常念岳～蝶ヶ岳、双六岳～鷲羽岳～水晶岳、更に立山～剣岳への連山が見える。本当に良い天気です素晴らしい眺望を味わう。やがて剣の様に尖った岩峰・ケンズリを前に樹林帯の中の道に入る。これが急で長い。樹間に大きな岩塊が見える。
12:35 樹林帯を出た所が岩塊の上部を眺める位置。昼食。12:45 再出発。この後、大岩を梯子で登り、栈道で渡るのを繰り返す。よくもまあここまでして道を付けたものだ。スリル満点の道だ。
13:37 餓鬼岳小屋。荷物を置いて山頂へ向かう。
13:42 餓鬼岳山頂。大パノラマに暫し見とれる。もう1時間早ければ唐沢岳まで行きたい所だが断念。
13:55 小屋に戻り、手続きを済ませ先ずはビール。17時から夕食を済ませ、寒くて布団に入る。5℃。19時頃寝る。
24(月)05:13～唐沢岳へ向かう。トラバースルートが見つからず餓鬼岳山頂へ。
05:18 餓鬼岳山頂で丁度日の出時刻で運よく御来光を拝む。ゴロ石や樹林の中、高度差のあるアップダウンを3度程繰り返す。頂上手前は花崗岩が崩れたザレ場。大岩を巻く様に登る。ザレ場の斜面にコマクサが咲いている。
07:05 唐沢岳山頂。行動食で下りのエネルギーを補給。
07:12～下りは特にザレ場が怖い。滑るとそのまま行ってしまう。木の枝につかまりながら慎重に下る。同宿の人とすれ違う。餓鬼のコブから展望台に寄るとここにもコマクサ。西餓鬼岳への稜線が続く。
08:58 餓鬼岳小屋。無事小屋に戻る。ダメ元で弁当を頼むとOK。出来るのを待つ間にストレッチをしておく。
09:20 東沢乗越を経て燕岳へ向かう。

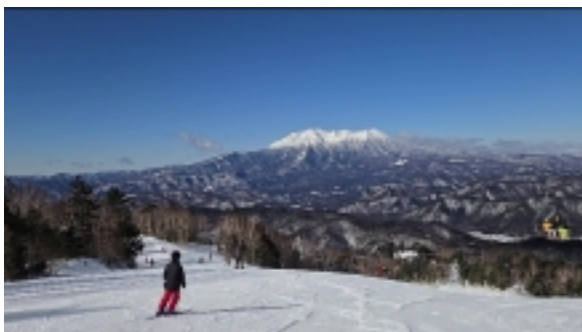


5月号案内

表紙の写真

高野 寛さん（伏見山の会）

木曽福島スキー場から御嶽山



今年の2月に乙訓の人達と長野県の木曽福島スキー場へ行ってきました。

ここは近年には珍しくスキーヤー専用のゲレンデで、存分にウインタースポーツを楽しむことが出来ました。

最終日は快晴。

正面に真っ白な御嶽山が姿を現し、気分も最高に盛り上がります。

その堂々とした山容に向かって雪面を滑り降りるシーンはヨーロッパアルプスにでもいるような気分にさせてくれました。

（高野 寛）

<お知らせ>

表紙のイラストや写真を提供ください

「提案 情報 投稿」原稿を募集しています。

連載企画の内容でもOKです。

労山会員の方やお知り合いで連載を引き受けてくださる方をご紹介ください。

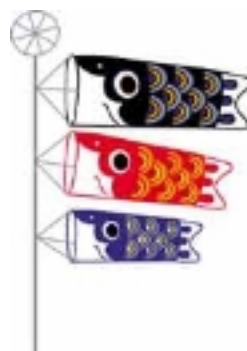
例えば「野鳥に詳しい方」「高山植物、野草に詳しい方」「コケやきのこに詳しい方」など会員みなさんに知識を広めてくださる方を募っています

【投稿先】 京都府勤労者山岳連盟 機関誌委員会 高野 寛

メールアドレス hirossan-1954@nifty.com

*原稿サイズ B5版 1行約36字 1頁約36行

*字体 MS明朝体 11P 余白 上下、左、右各20mm



2025年 京都府連盟 月間予定表

5 月（皐月・MAY）		
1	木	
2	金	
3	土	憲法記念日
4	日	みどりの日
5	月	こどもの日
6	火	振替休日 事務局長会議休会報告のみ
7	水	
8	木	
9	金	自然保護委員会
10	土	
11	日	
12	月	常任理事会
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	やまびこ利用日
17	土	
18	日	初級実技 11 岩稜縦走③
19	月	京都労山印刷 ハイキング委員会 遭難対策委員会
20	火	教育委員会
21	水	
22	木	
23	金	
24	土	大文字山登山道整備 初級実技 12 夜間登山・ビバーク
25	日	初級実技 12 夜間登山・ビバーク
26	月	常任理事会
27	火	気象勉強会
28	水	女性委員会
29	木	
30	金	
31	土	

6 月（水無月・JUN）		
1	日	全国一斉クリーンハイク
2	月	自然保護委員会
3	火	事務局長会議
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	全国ハイキングリーダー学校
8	日	全国ハイキングリーダー学校 初級机上6 テーピング・遭難対策
9	月	常任理事会
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	初級実技 13 岩稜縦走④
16	月	京都労山印刷 ハイキング委員会 遭難対策委員会
17	火	教育委員会
18	水	
19	火	
20	金	やまびこ利用日
21	土	女性委員会交流山行「瓢箪崩山」
22	日	無雪期搬出訓練 初級実技 14
23	月	常任理事会
24	火	気象勉強会
25	水	女性委員会
26	木	
27	金	
28	土	自然観察会「嵯峨 観空寺谷」
29	日	
30	月	